

溶接用電極及び周辺機器国内業界 No.1 を目指し 創業 50 周年
自動車産業の中心地 愛知に本社を構える溶接関連総合メーカー
84 歳現役プレイヤー代表取締役会長が語る 溶接産業の未来

創業 1974 年、抵抗溶接をメインに、各種溶接用電極、周辺機器の幅広いソリューションを提供する
新光機器株式会社（所在地：愛知県名古屋市）の代表取締役会長 露澤武夫をご紹介します。

■ 会長プロフィール

Takeo Fukizawa



社名： 新光機器株式会社
氏名： 露澤 武夫（ふきざわ たけお）
出身地： 長野県
生年月日： 1940 年 1 月 7 日
年齢： 84 歳
肩書： 代表取締役会長
資格： 自動車普通免許
経歴： 1958 年 4 月 太陽興業株式会社 入社
1958 年 5 月 名古屋支店 異動
1974 年 5 月 新光機器株式会社
代表取締役社長 就任
2014 年 11 月 同社 代表取締役社長 解任
2014 年 11 月 同社 代表取締役会長 就任

〈略歴〉昭和 33 年太陽興業株式会社に入社。昭和 49 年 5 月に新光機器株式会社を設立。代表取締役社長に就任し、現在に至る。

業務内容： 経営全般

座右の銘：『人生は邂逅なり』

長野から東京に出て、名古屋へ転勤するなど多くの出会いを繰り返し、偶然の出会いを大切にしてきました。独立した際も多くの人に支えられ今年 50 年企業へと成長し、自分の人生を改めて考え直した時、まさにこの言葉がマッチしていると感じました。

趣味： 新聞を読む

午前 3 時に起床し、毎日 5 社分の新聞を読むことを日課にしています。
気になった記事は切り取ってコレクションしています。



■新光機器株式会社について

抵抗溶接をメインに、各種溶接用電極、周辺機器の幅広いソリューションを提供する当社（所在地：愛知県名古屋市）は、我々の主な取引先である自動車・電化製品産業のニーズそれぞれに合った高品質な製品を迅速にお届けするため、“直接仕入”、“直接加工”、“直接販売”の「三直体制」に取り組み続け、2024年に創業50周年を迎えます。

■直近の業績

直近3期分の売上高

2022年4月期：22億5,441万円

2023年4月期：23億5,558万円

2024年4月期：25億5,000万円（見込み）



新光機器株式会社（本社）

■新光機器設立の経緯 目指したのは“一貫通貫型”の溶接スペシャリスト企業

高校卒業後、長野から上京を決意し太陽興業株式会社に就職しました。

カーバイトと呼ばれる溶接用ガスを販売する商社であり、その頃から溶接関連会社の一営業マンとして勤めていました。

ある時名古屋への異動が決まり、自動車業界の顧客へ営業に行くことが増えていきました。溶接業界と最も密接な関係である自動車産業の現状を目の当たりにし、当時一般的であった商社経由での販売と、ガスのみを売る現在の仕事に不安を感じるようになっていきました。

その打開策として、愛知で最も大手の自動車メーカーであるトヨタ自動車のパテントを使用し、溶接用電極や周辺機器の販売も始めることを当時勤めていた会社に提案しましたがなかなか相手にしてもらえず、それを機に「自分で会社を立ち上げて商売を始めよう」と思い立ちました。

1970年代、溶接業界は商社経由で物売り買いするのが一般的でしたが、ただでさえ理解が難しい溶接について、商社経由で対応することにずっと疑問を抱いていました。

そこで、溶接用電極や周辺機器などの商品を直接取引ができ、溶接に関する技術サポートサービスも兼ね備えた、溶接のスペシャリストのような会社があればと思いました。

トヨタ自動車との巡り合わせもあり、現在の新光機器スタイルがここから確立されていきました。

■経営にあたっての成功談 “コンビニ方式”の顧客に寄り添う営業スタイル

新光機器を設立し、まずはトヨタ自動車のパテントを使用し、溶接用電極（ガイドピン・下部電極）とナットフィーダー（ナット自動供給装置）の製造を始めました。

それだけでなく、新光機器社員自らが顧客のところまで足を運び直接販売、更にはその場で溶接のアドバイスを行う技術サポートも積極的に行うようにしました。

これが当時他社に無い営業スタイルだったため、多くの自動車メーカー、サプライヤ様との信頼関係に繋がりました。

また、溶接業界で困り事は日常茶飯事のため、顧客から「困った時にすぐに来てほしい」という声も多く上がりました。

その要望に応えるべく、各地方に18拠点（2024年6月現在）の営業所を構え、いつでも対応できる体制を整えました。

結果、自然と困り事や相談事が舞い込んでくるようになり、「溶接のことなら、新光機器」と安心感を持っていただけるようになりました。

顧客の身近に存在することで、いち早く対応し、安心と信頼関係を築く。当社ではこれを**コンビニ方式**と呼び、顧客に寄り添った営業活動をすることで、50年間変わらず営業を続けることができていると感じています。

■ 経営にあたっての苦労話

当時は商社経由での取引が一般的だったため、直接販売の当社営業スタイルに理解が得られませんでした。

各商社からお叱りの言葉をいただくことも少なくなかったです。

ですが、販売だけでなく技術サポートも行うという点から、顧客と直接コミュニケーションを取ることで信頼関係に繋がり、徐々に顧客からの評判も上がっていききました。

これが現在も続く新光機器独自の営業スタイル、全てを一貫して自社で行う 三直経営（直接仕入・直接加工・直接販売）であり、顧客満足度にも繋がっています。

■ 今後の展開

新型コロナウイルス感染症の影響により、溶接が多用されている製造業や建設業が大きな打撃を受けました。

当社でも、クライアントからの生産停止を受け厳しい状況が続きましたが、2024 年現在では多くの工場が生産再開をし、溶接市場は着実に回復傾向にあります。自動車の製造増加も見込まれており、需要は高まると予測されています。

また、近年溶接業界ではロボット溶接の採用が増加しており、2016 年に発表された「CASE[※]」など、自動車産業界を始め溶接業界では大きな変革が起こっています。

それに伴い、当社では溶接業界と社会問題の解決に向けた省資源化を図る溶接部品の開発を行っております。

その第一弾として、当社独自の開発思想『コンタクトチップの理想を造る 摩耗しにくく究極の長寿命商品 ZM コンタクトチップ』の販売を、2019 年 5 月に開始しました。

当製品は低スラグワイヤー^{※2}を使用する溶接企業をターゲットとしており、近年海外での低スラグワイヤー^{※2}の使用増加により、需要が急増しています。

国内でも徐々に売り上げを伸ばしており、2024 年 4 月には前年比 2 倍以上の受注となりました。

今後、アーク溶接が大幅に成長することを見据え、当社は売り上げシェア 45%以上を目指し、国内 No.1 溶接関連総合メーカーを目標に掲げます。

御年 84 歳となりましたが、今後も現役プレイヤーとして接業界を盛り上げていきたいと考えています。

※CASEとは、Connected（インターネット接続機能）、Autonomous（自動運転）、Shared&Services（カーシェアリング）、Electric（電動化）の頭文字をとった用語。自動車の次世代のあるべき姿を表しており、自動車産業界のみならず、社会全体に変革をもたらすと捉えています。

※2 低スラグワイヤーとは、溶接時に発生するスラグ（溶接後の不要な金属酸化物や残留物）を最小限に抑えるために作られたワイヤー。

◆ 会社概要

社名： 新光機器株式会社
代表： 代表取締役会長 露澤 武夫
設立： 1974 年 5 月 11 日
本社所在地： 〒452-0822 愛知県名古屋市西区中小田井 4 丁目 11 番地
電話： 052-504-5150
資本金： 9,800 万円
従業員数： 171 名（国内 136 名、海外 35 名）
事業内容：
・溶接電極の設計、製造、販売
・ナット自動溶接装置の設計、製造、販売
・欠品防止装置の設計、製造、販売
・パーツフィーダーの設計、製造、販売
・各種研磨装置の設計、製造、販売
U R L：
<https://shinkokiki.co.jp/>

◆運営サイト

公式サイト：<https://shinkokiki.co.jp/>

公式 YouTube：<https://www.youtube.com/channel/UCtGW6u5GP7ZuvG-OILzm4w>

公式Instagram：<https://www.instagram.com/cyappakunskk/>

【報道関係者 お問い合わせ先】

新光機器株式会社

広報室：西口

E-mail : a-nishiguchi@shinkokiki.co.jp TEL : 052-504-5150 FAX : 052-504-5158